

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との関わりは行っているものの特定の方や団体との関わりのみになっている。行事への参加も、近隣住民の参加がない状態であり、積極的に参加を声掛けする必要がある。	家族や外部を招いて行う行事などには、近隣の住民にも積極的に参加を声掛けし、ともに行事を作り上げるよう努めていく。	年に一度行う「芋煮会」には近隣住民や関係者（行政・協力医療機関・設備関係）にも参加の声掛けをするとともに、企画への協力も仰ぐなど協同での作業を行う。回覧板は利用者と職員と一緒に届けるなど顔の見える関係を築く。	12ヶ月
2	13	スタッフ不足により、外部への研修の参加や、社内での研修が十分に行えていない状況であった。	スキルアップを目指した研修への参画。（初任者研修・介護福祉士研修・ケアマネ試験など）外部研修のスケジュールを入手し、定期的に研修に参加できるようにする。定期的に社内での研修も実施し、知識・意識向上に努める。	資格の取得。（初任者研修取得が出来るようソフトの調整など。）個別での研修への参加と、月次会議での研修実施への定着。	12ヶ月
3	4	運営推進会議での報告内容が、利用者状況や事故報告・行事報告のみであり、外部評価の結果報告・身体拘束廃止活動に関する活動や防災に関する取り組みなどの報告が出来ていなかった。	施設での活動内容・委員会の結果・防災に関する協力要請についても報告し、意見など記録していく。	委員メンバーへも評価や避難訓練の協力を仰ぎ、サービスの向上に努める。	2ヶ月
4	35	火災想定避難訓練は実施していたが、地震・水害災害を想定した避難訓練が実施できなかった。また、地域の消防団との連携が図れていなかった。	日中・夜間の火災避難訓練に加え、地震想定・水害想定避難についても実施し、万が一の場合に対応できるようにする。	2ヶ月に1度は避難訓練を実施。（日中火災想定・夜間火災想定・地震想定・水害想定を定期的に実施）また、備蓄品の準備や確認についても定期的に行う。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。